

入間川地区中学校統廃合検討協議会第6回会議録

- ・開催日時 平成23年11月24日（木） 午後7時～午後8時20分
- ・開催場所 狭山市役所6階 602・603会議室
- ・出席者 17名（代理含む） ※欠席者3名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 5名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）統廃合対象校の選定について

（事務局） ——— 配付資料説明（略） ———

- ◆ 評価表
- ◆ 東中学校と中央中学校の比較

（委員）東中廃止のA案は、富士見小学校区が狭山台中学校に通う案ですが、線路沿いに住む子どもたちにとっては、狭山台中と入間川中とでは、どちらが近いですか。

（事務局）そんなに大きな差はないと思います。

（委員）富士見小学校区の中でも線路沿いに住む子どもたちにとっては、狭山台中はちょっと遠いかなと…。

（事務局）中学校の通学距離は、国の基準では6km以内となっており、狭山市内ではそれを超えることはないと考えております。現在、自転車通学

を認めている中学校もありますが、大体2kmくらいが目安のようです。

(委員) 私は東中の廃止で考えているのですが、A案もE案もいくつかの学校に分かれる形になっていますが、子どもや保護者に意向を確認して、通学先を自由に選べるような形はとれないのでしょうか。そうすれば、通学先に選んでもらえるように、それぞれの学校が特色を出して頑張るのではないかと思うのですが…。

(事務局) 通学距離があまり変わらない場合は、現在でもそういったことを認めているケースはありますが、通学の安全の観点から難しい面があると思っています。

(委員) 私立に通っている子どももたくさんいることを考えれば、距離的なことは、そんなに影響されないかなと思うのですが…。

(事務局) 通学区の自由選択の幅を広げすぎますと、本来の目的である規模の適正化がうまく図れない可能性もありますので、ある程度限定的な形で対応せざるを得ないかなと考えています。

(委員) 一部分であればできるのですか。

(事務局) 現在でも、特別許可地区といって、限定的に指定校以外の学校への通学を認めている区域はあります。

今後、通学区域の見直しの検討の際には、そういったご意見もいただければと考えております。

(委員) 私は東中廃止のA案を支持します。奥富の人にとっては、東中から中央中に移されて、今度は柏原中ともなれば大変な負担だと思います。それと、東中の生徒数が増えたことによって中央中ができたわけですから、中央中の名前を東中に変えるという考え方もあるかと思います。また、中央中を建てたとき、峰地区の農家の人たちが90%くらい土地を提供した経緯があり、峰地区の子どもたちは、いまは500mくらいの距離で中央中に通っていますが、もしもE案で入間川中に通うようなことになれば、3km以上になってしまいます。そういった点を危惧していますので、A案がいいと考えます。

(議長) 私としては、この会議も6回目になりますので、廃止の対象校をそろそろ決めなくてはいけないと思っているのですが、今日で意見をまとめるべきか、それとももっと検討を行っていくべきか、一人ずつ意見をお伺いしたいと思うのですが…。

(委員) いろいろシミュレーションなども出してもらったりして、皆ある程度内容は把握できていると思います。このあたりで東中か中央中にするかを決めないと、いつになっても決まらないと思いますよ。

(委員) 議論の中心となるものは、もう出尽くしているかなと思っています。それぞれの意見の調整は今後必要かと思いますが、ここでまとめに入っていていただいてよろしいかと思います。

(委員) 第3次総合振興計画で人口増を見込んでいることもあり、簡単に廃校という言葉を使ってしまっているものなのかと…。政策企画課からは人口の減少は止まっているとの話も訊いていますし、そういう点も加味しなければいけないと思っています。ですから、東中であるとか中央中であるとかといった問題ではないと考えています。

(委員) 具体的な校名を挙げた意見も出ていますので、ここで取りまとめてもらっているのではないかと思います。

(委員) 学校経営の視点からいえば、あまりにも学区が重なりすぎている状況はありますので、何かをきっかけに解消した方がいいとは思っています。

(委員) 耐震など子どもたちの安全を一番に考えるべきだと思います。それと、ある程度通学区は自由に選択できる形をとっていただければと思います。子どもたちの見守りもありますので、保護者や地域の方々には、そういった点は十分に周知していただく必要があると思います。特別支援学級に関しても、行事等のこともありますので、その学校に特別支援学級があれば、子どもたちも不自由がないかなと思いますので、予算面で考慮していただければと思います。

(委員) それぞれの学校には何とか魂みたいなものがあって、この学校を廃校にするといったようなことはなかなか言いづらいのですが、ただ、やはり生徒と先生の数を増やして質を高めることは大事なことで思

います。もう6回目ですから、学校を絞ってよろしいかと思います。
多数決ということではなくて皆が納得するような形で…。

(委員) もう6回目ですから、決めなければいけないと思います。やはり、
判断の視点としては、校舎の安全性が第一だと思います。

(委員) 私は東中廃校の方向で今後議論を進めていくのがよろしいかと思
います。

(委員) 私も東中の廃止で、案としてはE案がよろしいかと思います。一日
も早く東中の生徒が耐震と冷暖房の整備された学校に移るのが理想か
と思っております。通学区に関しては、周りからはいろいろと意見が
入ってきており、検討の余地があると思っております。

(委員) 学区については今後煮詰める必要がありますが、まずはここで廃校
にする学校を決めるということによろしいかと思います。

(委員) 東中は耐震工事もしてくれないし、どうにもならないのかなと…。
自分の子どもが安全な学校に通えるように話が進めばいいと思ってい
ます。

(委員) 私としては、まだ6回しかやっていないという思いなのですが、こ
の会議は、規模とか耐震とか通学距離とかを視点にするだけで、子ど
もを主体にして考えていないと思います。耐震と空調にお金がかかる
と言いますが、これは市が意図して遅らせたわけですから、東中は耐
震と空調の工事が済んでいるという前提で進めてもらわないと、同じ
土俵に立っていないと思います。

(事務局) 意図したという捉え方をされたようですが、そういうことなく、
平成19年に入間川地区の中学校において統廃合をする必要性がある
との答申が出ており、それを踏まえたときに、廃校になる可能性のあ
る学校に対してお金をかけることが、市全体としての効率的な財政支
出の観点から如何なものかという側面があったわけです。

冷房化につきましては、現在どこの学校も暖房工事はされているの
ですが、そのときに補助金をもらっている関係で、15年を経過して
いないと冷房化の補助が受けられないということがあって、それに基

づいて工事の順番を決めさせていただいているという状況です。

(委員) 私の周りでは意図的に遅らせたと思っている人が多いですよ。子どもの命がかかっているわけですから、市の財政がどうのこうのではなくて、どこに最初にお金を使うべきかを考えた場合、子どもを守ることにお金を最優先に使うべきじゃないのですか。

私は子どもを主体に考えたうえで、もっと議論していくべきだと思います。

(議長) いま皆さんから意見をお伺いしたわけですが、ここでまとめるべきという意見が多かったと思いますので、次は廃校の対象とする学校をどこにするかということで意見をお伺いしたいと思います。

(委員) 陽当たりなど数字に表れない部分も子どもの教育環境の面で大きなウェートを占めていると思います。東中の体育館は中央中の半分しかありませんが、だからといって部活が弱いというわけではありません。大地震が起きた際にも、近くにホームセンターやショッピングモールがありますので、そういった所からの支援も期待できると思います。跡地利用に関していえば、やはり中央中の方が駅に近いですし、いろいろな方策が立てられる気がします。東中を廃止にした場合、ホームセンターの方に繋がる道路ができて便利になると言う人もいますが、現状でもあの辺の道路は混んでいますし、駅の方に向かう車が増えるとなると、もっと使いづらい道路になると思います。そういった理由で私としては東中を残してもらいたいと思います。

(委員) 一つ質問なのですが、耐震工事をした場合、どのくらいの期間プレハブの教室で過ごさなければならなくなるのですか。

(事務局) 東中と同じくらい規模が大きい西中では、二か年に分けて耐震工事を行いました。その際はプレハブで過ごしてもらったということではなく、長期の休みを利用する形で実施しました。東中で耐震工事を実施する場合もそのような形で考えており、子どもたちの教室については二か年にかけて計4か月くらい、それ以外の箇所の工事期間、外壁塗装や屋上防水などの工事期間も合わせますと、トータルで10か月くらいはかかるとみています。

(議長) それでは改めて廃止の対象校ということで、委員さんから一人ずつご意見をいただければと思います。

(委員) 正直言うと東中は残してほしいです。でも、耐震とか何にもやってくれそうにないから私としては諦めムードですけど…。だって本当に恐いわけですよ、耐震工事もちちゃんとやってない学校に子どもを通わせるのは…。お金がかかるって言うけど、子どもの安全が一番大事じゃないですか！何のために税金払っているのかよく分かりません…。東中、壊す気満々じゃないですよ…。本当に良くしてくれるのだったら、東中を残してほしいです。

(委員) 両校とも残してもらいたいです、少子化という時代の流れでやむを得ないと思います。東中は校舎が古いですし、使い勝手言えば中央中の方が今の時代に合っているかなと思います。東中は出入り口が3か所くらいありますが、中央中の方は1か所ということで、不審者対策など防犯の面では中央中の方が優れていると思います。私としては中央中を残してもらいたいと考えています。

(委員) 私も中央中は耐震などの工事が全て終わっているということで、そのまま使っていただければいいのかなと考えています。

(委員) 一年間だけですが、私も東中に通った身であり、東中がなくなるのは淋しい気もしますが、時代の流れもありますし、既存施設の活用を前提とした統廃合ということでありますので、中央中を残して東中をなくすという形でよろしいかと思います。

(委員) 私が通っていた小学校と中学校は、もうありません。子どもの安全のためには、中央中を残して東中を廃校にするのが無難ではないかと思います。

(委員) 非常に難しいところですが、やむを得ずということで、東中廃止のE案かなと思っています。

(委員) 私も東中廃止の方向で考えています。

(委員) 私の子ども二人も東中を卒業していますので、子どもたちにとって

学校がなくなるのは辛いだろうと思います。ただ、長い目を見たとき、財政状況が圧迫している中で、果たして学校を残すことが私たちの税金が有効に使われていることになるかと考えると、やはり疑問は生じます。市の発展を考えたとえでの長期的な視野に立った計画だと思いますし、中央中を残して東中をとという考えは、一市民としてはあります。

(委員) 両方の学校を残すことが叶わないということであれば、東中には長い伝統がありますが、比較的設備の新しい中央中を残した方がいいのではないかと思います。先ほど中央中の名前についての話もありましたが、今度新たに入った子どもが新しい伝統を創っていくということで、前向きに考えていければいいと思います。

(委員) 跡地利用を考えれば、耐震性があり冷暖房が整備されている中央中の方が、そのままの形で何かしらの活用ができると思います。また、東中は調整区域ということで建物が建てづらい状況などを考えますと、東中に新たに学校を建てていただくというのがよろしいかと思います。沢地区などで人口が増えても、学区の再編成をしなくてもすむ面もありますし、跡地利用や都市計画の観点からも、東中を残していただいて、中央中については別の利用方法を考えてもらえればと思います。

(委員) これからどういうふうにお金をかけていくかということを長期的な視点で考えることが、この問題の一番の論点という感じはします。昭和39年建設の東中の校舎自体、50年の耐用年数まで残り3年ということで、その時期が来たときには、今度はどうするのという問題がまた出てくると思います。私としては、現状では東中を廃校にして、中央中を残すという案が一番妥当ではないかという気がします。

(委員) 資料にも書いてあるとおり、学校の当事者の人たちにとっては、普通は自分の学校は残してもらいたいと思うのですが、資料の評価を見る限り、東中を廃校にして中央中を残すのが妥当かなと思います。

(委員) 資料の評価表を見れば、大体意見はまとまると思います。東中の一部と西中の一部が合わさって入間川中ができたわけですから、東中の伝統は入間川中にもつながっていると思いますし、中央中の校舎を残

していただいて、名前を東中に変えてもらうのが一番いいかと思います。

(議長) 廃止の対象校としましては、東中学校という意見が多かったようですので、この協議会としては、東中学校を廃校の対象として今後の検討協議を進めていくということで、ご異議ないでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員) 評価表の○×は事務局だけの判断でつけたのですか。

(事務局) はい、できるだけ客観的な評価項目で評価させていただいたつもりです。評価については、そうじゃないよという意見もあろうかと思いますが、一つの考え方として出させていただきました。

(委員) 東中廃止の評価を見る限り、E案よりA案の方がいい感じに見えますが、別に横とのつながりがあってトータルで何点という見方ではないわけですね。

(事務局) そうですね。客観的な視点でマークはしましたが、全体としての評価は主観的になるということです。

(議長) それでは、この協議会におきましては、東中学校を閉校の対象とし、今後はより良い統廃合とすべく、その他諸々の検討を進めていくということでよろしいでしょうか。

《「はい」の声あり》

それでは、そういう方向で今後ともよろしく願います。

(2) その他

(事務局) 次回の会議の日程につきましては、決まり次第、後日連絡させていただければと思っております。次回の会議では、今後の進め方などについて、ご審議いただければと考えております。

また、本日の合意内容はポイントになる部分ですので、ホームページにつきましては、改めてご周知願えればと思っております。併せて今後は、学校で説明会なども開催したいと考えております。統合後の通学区域の見直しにつきましては、関連する小学校も含めたPTAの

方々にも周知の必要があると考えております。

(委員) この段階で小学校に説明するのですか。

(事務局) いいえ、まずは中学校ですが、今後の通学区の区分けのなかで影響の出る小学校のPTAに対しても、ご説明に上がる必要があると考えております。通学区などにつきましては、次回もご審議いただくことになろうかと思えます。

(委員) それはPTAの総会みたいところでやるということですか。

(事務局) 保護者全員であるとか、PTAの総会の場合であるとか、そのあたりは今後また協議させていただければと思っております。

(委員) 統合するのは、いつ頃ですか。

(事務局) 統合の時期につきましては、現段階では明確には申し上げられませんので、また次回以降ご審議いただければと思っております。

統合にあたりましては、議会での議決の手続きが当然必要ですし、議決をいただいてからも、学級編成等の調整や統合校の改修など、一年くらいは必要かなと考えております。ですから、例えば24年度中に議決をいただいた場合には、統合は平成26年4月になるということです。

(委員) その間、東中の生徒は耐震もやってない校舎で怯えながら通うわけですか…。だって、そういう論議だったじゃないですか。だから中央中にしましょうという話なわけですから、決まったなら決まったで、さっさと安全になるようにしていただきたいと思えますね。もう耐震工事が終わっている学校に行けばいいわけでしょ…。

(事務局) 確かに東中の校舎につきましては、数値の低い校舎が3棟ほどありましたので、その3棟全てにおいて簡易耐震工事を実施いたしました。Is値0.3未満につきましては、倒壊の恐れがあると云われていますので、それらを補填する工事はすでに施しているということです。ですから、いつ壊れてしまうかわからないほどの状況にはないということです。

(委員) だから、それならば耐震の部分は評価の項目から外してもらいたいということです。最初からそれは言っていますよね。統合は26年になりますなんて、そんなのはおかしいでしょ。保護者は普通思いますよ、決まったのだったら何でもっと早く移れないのって…。安全、安全って言っているわけですから、その辺はもう少し考えてもらわないと…。

(事務局) 確かに学校が決まれば、一刻も早く耐震性の高い学校に移るのが望ましいことだとは思いますが、ただ、統合先の学校ではこんな整備をしてほしいとか、同じ市内の学校でも教育方針が違ったりしますので、そういった学校間の整合をとる必要などもあります。さらに学校が一枚なくなりますので、そこで勤めていた先生の人事についても長期的な視点でフォローしなければなりません。そういったことで、いろいろな分野において調整等の時間が必要となりますので、仰っていることは解かるのですが、現実的にはすぐに統合するのは難しいというのが事実としてあります。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第5回会議録
- ◆ 評価表
- ◆ 東中学校と中央中学校の比較